



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

甲南大学理工学部物理学科教員

1. 教授・准教授・講師いずれか 1 名
2. (1) 甲南大学理工学部物理学科
(2) 神戸市東灘区岡本
3. 宇宙物理学の理論的研究
4. 上記研究および学部、大学院の教育・研究指導。
5. (1) 2009 年 4 月 1 日
(2) 任期なし
6. 50 歳以下で博士の学位を有する方。理論研究室の准教授 須佐 元と連携して上記研究を推進する方。学部・院生の教育および研究指導に熱意を持って取り組む方。
7. (1) 履歴書（連絡先明記、写真貼付のこと）、(2) 研究業績リスト（査読付論文と査読なし論文は別々のリストにすること）、(3) 主要論文別刷 5 編以内（各 2 部、コピーでも可）、(4) 現在までの研究概要（2,000 字以内）、(5) 今後の研究計画（1,000 字以内）、(6) 教育および研究指導についての抱負（1,000 字以内）、(7) 推薦書または所見を求め得る方 2 名の氏名と連絡先
8. 2008 年 9 月 1 日（月）必着
9. (1) 〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1
甲南大学理工学部物理学科主任 水野健一
(2) 同学科 須佐 元
Tel: 078-435-2484
e-mail: susa@konan-u.ac.jp

10. 封筒に「物理学科教員応募書類在中」と朱書き、簡易書留で送付のこと。国籍は問わないが日本語で講義のできる方。応募書類は返却しません。なお提出していただいた書類は当人事選考についてのみ使用し、最終的に責任を持って破棄いたします。

東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター教員

1. 助教 1 名
2. (1) 東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター
(2) 東京都三鷹市大沢 2-21-1
3. 観測天文学
4. 当センターは銀河天文学、電波天文学、恒星物理学の 3 部門および木曾観測所で構成されています。これらの研究部門・観測所と連携をとりつつ研究を進められる方を求めます。大学院及び学部教育も担当していただきます。
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
(2) 任期なし
6. 博士の学位あるいはそれと同等の研究歴をもつ方
7. (1) 履歴書（写真添付）、(2) これまでの研究概要、(3) 業績リスト、(4) 主要論文別刷（3 編以内）、(5) 着任後の研究計画と抱負、(6) 自薦の場合は本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先、(7) 他薦の場合は推薦書の他に上記事項 (1)-(5) の書類。
8. 平成 20 年 7 月 18 日（金）必着
9. (1) 〒181-0015 東京都三鷹市大沢 2-21-1
東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター
センター長 吉井 譲
Tel: 0422-34-5027 Fax: 0422-34-5087
e-mail: yoshii@ioa.s.u-tokyo.ac.jp
(2) 問合せ先 提出先と同じ
10. 応募注意 封筒に「助教応募書類」と朱書きし、直接持参するか、簡易書留で郵送。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

京都大学大学院理学研究科 宇宙物理学教室教員

1. 2007年11月（第100巻11号）
2. 野村英子（Queen's Univ. Belfast, 海外学振）
3. 2008年5月1日

広島大学大学院理学研究科教員

1. 2008年4月（第101巻4号）
2. 深澤泰司（広島大学）
3. 2008年5月1日

東京大学大学院理学系研究科 天文学教育研究センター教員（准教授）

1. 2008年1月（第101巻1号）
2. 宮田隆志（東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター助教）
3. 2008年6月16日

大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻 教員（助教）

1. 2008年2月（第101巻2号）
2. 深川美里（JAXA 宇宙科学研究本部宇宙航空プロジェクト研究員）
3. 2008年7月

研究助成

日産科学振興財団 2008年（平成20年）度 「理科/環境教育助成」の募集を開始

日産科学振興財団は、「教育」・「環境」・「自動車」にフォーカスした助成を行ってまいりました。その一環として、2008年度も昨年と同様に「理科/環境教育助成」の募集を行います。

ここでは「理科/環境教育助成」プログラムのみを記載致しますが、学術研究助成については、弊財団のホームページをご参照下さい。

■理科/環境教育助成

将来を担う若い世代の科学と環境問題に関する興

味と関心を高め、理解を促進することを目的として、理科教育、環境教育に関する助成を行います。

■応募要件

(1) 助成対象：主として高校生以下の生徒に科学・技術・環境問題の本質、モノづくり、自動車などに関する興味と関心を高め、それらの理解を促進することを目的とした下記課題による理科教育、環境教育。

- ①IT技術を活用した教育方法の開発と実施
 - ②気象、自動車など身近な素材を活用した教材および教育方法の開発と実施
 - ③博物館、動植物館、水族館等の公共施設と連携した教育方法の開発と実施
 - ④科学研究者、技術者が教える教育方法の開発と実施
 - ⑤イベントの開発・考案と実施
 - ⑥その他上記例示以外の新しい試みの考案と実施
- ※活動には上記目的に適う何らかの実践活動（授業、イベント、出張授業等）を最低限1回は含めること。

(2) 申請者の資格：小・中・高等学校の教員、大学・研究機関に所属する者（院生を含む）、企業の研究者（営利目的でないこと）、博物館・科学館関係者等

(3) 採択件数と助成金額：採択予定：55件程度 1件あたり40万円

(4) 助成期間：平成20年11月より1年間

(5) 応募期間：平成20年6月1日（日）～7月31日（木）

(6) 応募方法：Web申請（当財団ホームページから申請書を送信）

■詳細は、弊財団ホームページの『教育助成申請』をご覧ください■

URL: <http://www.nissan-zaidan.or.jp>

財団法人日産科学振興財団

〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-9

Tel: 03-3543-5597 Fax: 03-3543-5598

問合せ先 nsf@nissan-zaidan.or.jp

研究会集案案内

国立天文台野辺山特別公開のお知らせ

自然科学研究機構 国立天文台
野辺山宇宙電波観測所
野辺山太陽電波観測所

国立天文台野辺山観測所では、日頃行われている天体観測の様子や、最新の天文学研究の成果をより広く知っていただくため、下記の要領で観測所施設の特別公開を行います。暑い季節ですが、涼しい野辺山高原でみなさまのご来場をお待ちしています。

記

1. 日時 2008年8月23日(土)午前9時～午後4時(入場は午後3時30分までです)

場所 国立天文台野辺山

2. 展示・見学

通常の見学コースに加えて、45メートル電波望遠鏡や電波ヘリオグラフの各観測室や望遠鏡の内部を見学できます。また、宇宙・太陽からやってくる電波をとらえる観測装置の仕組みや最新の研究成果を実験と展示で解説します。工作体験コーナーや質問コーナーなどもあります。

講演会

- 午前11時～午前12時
「科学衛星『ひので』がとらえた私たちの星—太陽—の素顔」
清水敏文(宇宙航空研究開発機構)
- 午後2時～午後3時
「電波でさぐる天の川銀河」
中西裕之(鹿児島大学)

交通

- 鉄道 JR 小海線野辺山駅下車 徒歩30分(駅から無料シャトルバス運行)
- 自動車 東京・名古屋方面から: 中央自動車道長坂インターから清里高原道路を経て約30分。または、中央自動車道 須玉インターから国道141号線を白田・佐久方面へ約50分。 群馬方面から: 上信越自動車道 佐久インターから国道141号線を白田・清里方面へ約80分。

3. ご注意

- 入場無料・雨天決行。
- スリッパを各自ご持参ください。
- 天文台内では食事の提供・販売はいたしませんので、ご了承ください。
- 天文台入口駐車場は大型バス・障害者専用となります。その他の自動車の方は、野辺山スキー場の駐車場をご利用ください。スキー場から観測所まで無料シャトルバスを運行します。
- 当日は、会場準備の都合上、午前9時から午後4時のみの開場となります。

4. 問合せ先

国立天文台野辺山
〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山 462-2
Tel: 0267-98-4300 (代表)
<http://www.nro.nao.ac.jp/~openday/>

東京大学天文学教育研究センター木曾観測所
および名古屋大学太陽風観測所の特別公開の
お知らせ

東京大学木曾観測所および名古屋大学太陽風観測所を一般の皆様へ公開いたします。当日は、普段近くで見ることのできない望遠鏡や観測装置を間近に見ることができるほか、天文講演、研究紹介なども行われます。

日時: 2008年8月9日(土) 午前10時から午後5時まで

- 内容: 1) 木曾観測所ドームおよび望遠鏡の見学と説明
2) 太陽風観測所アンテナの見学と説明
3) 教育・研究活動の紹介、天体写真の展示
4) 講演会

開催場所: 東京大学木曾観測所および名古屋大学太陽風観測所
〒397-0101 長野県木曾郡木曾町三岳
10762-30

問合せ先: 東京大学木曾観測所
Tel: 0264-52-3360 Fax: 0264-52-3361
ホームページ:
<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/>
<http://www.stelab.nagoya-u.ac.jp/>

※なお、申込みは不要、入場無料です。ただし売店、食堂はありません。

第17回公開セミナー「天文学の最前線」
—元素から生命へ—

名古屋大学では毎年8月に第一線で活躍する天文学研究者を集め、一般向けの分かりやすい講演会と研究室紹介を開催しております。17回目となる今年のテーマは「元素から生命へ」です。宇宙の歴史の中で重要な役割を果たしてきた重元素が、いかにして作られ、そして天体が作られてきたか? 宇宙・星・惑星や月の誕生の謎に迫ります。

日時: 平成20年8月23日(土)～25日(月)
会場: 名古屋大学 (IB電子情報館, 理学部), 名古屋市科学館
主催: 名古屋大学大学院理学研究科, 名古屋市科学館

講師：野本憲一(東京大学教授), 常深 博(大阪大学教授), 加藤 学 (JAXA 教授), 渡邊誠一郎 (名古屋大学教授), 他

内容：講演会 (23, 24 日), 研究室紹介 (25 日)

対象：高校生以上

定員：300 名 (高校生・大学生・教員優先. 研究室紹介は定員 100 名, 抽選あり)

受講料：無料 (但し資料代実費 500 円 (高大学生), 1,000 円 (一般) をいただきます.)

締切り：7 月 21 日 (月祝)

申込方法：インターネット, または往復ハガキ

○インターネット

公開セミナーホームページ

(<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/astro/seminar/>)
より.

○往復ハガキ

往復ハガキに住所, 氏名, 参加人数, 高校生・大学生・教員・その他一般の区分, 研究室紹介参加希望の有無を記入の上, 下記まで.

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

名古屋市科学館「公開セミナー」係

(この情報は, 本主催者が開くセミナー等の案内以外には使用しません. また, 締め切り後, 一週間程度で受講票をお送りします. 当日は, 受講票を持参の上参加ください.)

問い合わせ先:

名古屋大学大学院理学研究科 Ux 研

「公開セミナー」係 (古澤)

Tel: 052-788-6194

ホームページ:

<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/astro/seminar/>

会務案内

内地留学奨学金応募者の募集について

この奨学金は主として学校の教員, 科学館・プラネタリウム・公共天文台などの社会教育施設の職員などやアマチュア天文研究者の方々の研究活動・調査活動を支援する制度です. 学生の応募も可能です.

この奨学金を受給された場合, 日本国内の日本国内の大学や天文台などの研究機関を利用し, その研究者の指導を受けて研究活動を行うことになります.

いままで, 多くの方がこの制度を利用して, それぞれ関心をお持ちのテーマで研究をされてきました. 奮って, ご応募下さい.

研究をしたいがその内容にふさわしい機関や指

導者が分からないという場合は, 内地留学奨学金選考委員長に相談して下さい.

過去の奨学金の対象となった研究テーマは本会の会員名簿の巻末, および学会ホームページに掲載されています.

募集要項

応募資格：日本天文学会員

採 択 数：若干名

留学期間：2009 年 1 月から 1 年間の希望する期間

希望者と受入研究機関, 指導教官 (受入研究者) と相談の上, 夏休みなどの長期休業時に集中させたり, 週に 1 回程度の研究日を設定するなどの方法が考えられます. なお研究終了後研究報告書の提出をお願いいたします.

支 給 額：25 万円以下で, 支給は 2009 年 1 月を予定しています.

申 込 み：応募申請書に必要な事項を記入し, 指導教官の捺印とコメントを得た上, 〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会理事長宛) に郵送してください.

応募締切：2008 年 8 月 29 日 (金) 必着

審 査：内地留学奨学金選考委員会 (内規第 5 条) で審査の上, 決定し, 10 月下旬に通知します.

応募用紙：日本天文学会事務室にあります. (学会事務室に電話をくだされば郵送します.)

申請書の書き方の例もありますからご請求ください. なお, 天文学会の会員名簿の巻末に内地留学奨学金に関する内規があります.

ご相談・問合せ先：群馬大学教育学部理科教育講座

〒371-8510 前橋市荒牧町 4-2

内地留学奨学金選考委員長 岡崎 彰

Tel: 027-220-7292 Fax: 027-220-7222

e-mail: okazaki@edu.gunma-u.ac.jp

天文学会事務所

Tel: 0422-31-1359 Fax: 0422-31-5487

e-mail: jim@asj.or.jp

訂正

天文月報 2008 年 6 月 (第 101 巻第 6 号) の賛助会員名簿に誤りがありました. 関係各位にお詫びして訂正致します.

正) (株)エイ・イー・エス 吉田忠彦

誤) (株)エイ・イー・エス 吉田宇一